

保護者への説明・意見交換会の記録（要約）

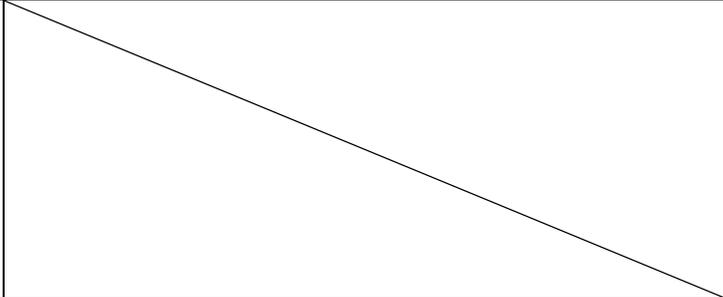
〔阿久根小学校〕 12月1日（金）

保 護 者	教 育 委 員 会
1 統・廃合を実施した後は、残った学校で特認校の対応となるのか。	○ その時点で存続する学校で、制度を適用する。
2 長寿命化計画において、耐震化は当然されると思うが、中身のリフォーム的なものもされるのか。	(1) 外装だけでなく、必要に応じて内装も変えていく予定である。 (2) 空調とか備品も含めて、リニューアルしていくイメージである。
3 聞いた話しによると、特別教室には空調がないという、できるだけより良い環境を与えていただきたい。	(1) 子どもたちに最良の環境を整備していく必要があるため、統・廃合の問題に関わらず、進めていきたい。 (2) 一斉にはなかなかできない。優先度の高いところから進めていきたい。
4 阿久根小も1棟校舎が改修される話を伺っているが、どのように改修するか、どれくらいの予算で開始されるのか、市のホームページで確認できるのか。	(1) 改修に関しては、入札に係るものなので、事前の公表は全て示すことはできない。 (2) 阿久根小の20号棟は、今年度仮設校舎を設置して、来年度にかけて工事に入る計画を立てていたが、仮設校舎の入札の不調により、実施できなくなった。 (3) 今後どのような計画で進めるか、皆さんにはなんらかの手段を通じてお示ししたいと考えている。
5 新しく建てる校舎は統・廃合を見据えて建てるということか。（教室数とか。）	○ あくまでも長寿命化計画に基づいて、年次的に行うものであって、今回は阿久根小ということである。
6 6か所確保してある駐車場は、統廃合後に使用する予定か。	(1) 今回のようなPTAで使用するという了承は得ていないところである。 (2) 緊急時の駐車場ということで了承を得ている。最終的には、PTAでも使用できるように協議していきたい。
7 統・廃合をしたときに、教室数は足りるのか。	○ 令和10年に統・廃合を行ったとき、現在の教室数で十分対応できる。
8 駐車場の問題で中央公園を潰して駐車場にすれば解決しそうだが、できない理由はあるか。	(1) 中央公園は、中央公園の果たす役割がある。 (2) そのような対応は考えていない。
9 阿久根小の特別会計について、統廃合してしまうと一緒になってしまう。 教育委員会としても側面的なサポートしていただきたい。	(1) 阿久根小の積み立てで行っているのであれば統・廃合までに阿久根小の子どもたちに還元するべきではないか。 (2) 必要なサポートは行っていきたい。

10 50歳組は、統・廃合されたらどうなるのか。	○ 統廃合と50歳組を一緒に考えていくことは難しい。50歳組の取組がなくなるのは避けたいことから、どのような形で対応できるか検討していきたい。
11 阿久根小のPTAはいったん解散し、残る会計は新しいPTAに引き継ぐとなか。	(1) 阿久根小は統・廃合となる。 (2) 持越はしないということである。
12 統・廃合した場合、制服・体育服は、前の学校の物を使用する形でいいか。	(1) 新しい学校になる1年から2年前には保護者に集まっていただき協議を行いたい。 (2) 新たな負担は望ましくない考える。

〔大川小学校〕 12月5日（火）

保 護 者	教 育 委 員 会
<p>1 小学校2年、中学校1年の保護者であるが、これまで阿久根中に通学する生徒の保護者等にモニタリング等を実施して、通学支援の現状を把握しているか。</p> <p>現在、市から通学費の支援を受けているが、バスの出発時刻と部活動の終了時刻に大きな時間差があり、乗車できる時間が19時台で、長時間停留所で待つ状況があり、帰りだけは迎えに行っている。</p> <p>家庭の事情で、迎えに行けないときは、事件や事故に巻き込まれないか心配である。(以前、解消するようお願いしたが、「検討していない。」などの回答もあり、保護者の意見を聞いていないと思う。今までも状況を聞かれたこともない。)</p>	<p>(1) 他の校区からも阿久根小・中に通学している子どもがいるので、これまで聞いた経緯がある。その子どもたちの保護者からは、通学支援について良い意見をいただいた。</p> <p>(2) 路線バスを利用する生徒について、困り感は把握していなかった。長時間停留所で待つことは、安心・安全という面から問題がある。</p> <p>(3) 今の質問については持ち帰り、対応策を検討したい。</p>
<p>2 尾崎小の児童は、現在、山下小に通っているのか。それはなぜか。阿久根小ではないのか。山下小に行きたくなかったということか。</p>	<p>(1) 基本方針では、阿久根小か近隣の小学校の通学を認めるとしていることから、山下小へ通学している児童もいれば、阿久根小へ通学している児童もいる。</p> <p>(2) 阿久根小へ通学している児童については、保護者が児童数の多い小学校へ通学させたいと考え、阿久根小を選択している。</p> <p>山下小へ通学している児童については、いきなり大きな学校ではなく、段階的に大きな学校に通学した方がいいと考え、山下小を選択している。</p>

<p>3 田代小の児童はどうなっているのか。</p> <p>小規模校へ通学したい児童が多かったということか。</p> <p>田代地区と尾崎地区の地域住民は、どのような感じ、寂しいなどの意見はなかったのか。</p>	<p>(1) 1人の児童は、阿久根小へ通学し、卒業後は阿久根中へ通学している。また、他の児童については、尾崎小の児童と同じ理由で、鶴川内小へ通学している。</p> <p>(2) 田代小には3人の児童が在籍し、一人は阿久根小へ、2人は鶴川内小へ通学しているということである。</p> <p>(3) 田代小でも、小学校が無くなると寂しくなるという意見もあったが、田代小校区の説明・意見交換会で、保護者が3人の児童の田代小では充実した学校生活は難しいので、他の小学校へ通学させたいという意見を述べられた。</p> <p>地域住民の皆さんも、保護者がそのような考えであればということでも話がまとまり、まずは廃校ではなく、休校という形でとの意向があり、休校となっている。</p> <p>休校のまま残してほしいという意見もあれば、子どもがいないのであれば、統・廃合でという意見もある。</p>
<p>4 要望である。</p> <p>大川から阿久根中に通学する際の公共交通機関との関りなど、総合的に考えてほしい。</p> <p>ダイヤについても、冬場は大きな問題となってくるので早急に対応してほしい。</p>	
<p>5 スクールバスを出す考えはないか。</p> <p>要望であるが、居住地からバス停まで遠いところもある。そういったことも考えてほしい。</p>	<p>(1) すぐに対応・検討するという情報があればいいが、どういった対応ができるか、まずは意見を預らせてもらいたい。</p> <p>(2) 現時点では、路線バスでの対応をお願いしたい。今回、課題も出てきたので、それを含め検討したい。</p>
<p>6 無理には統・廃合をしないということか。意見がまとまり、2年間を経て阿久根小ということで決まっているのか。</p>	<p>(1) 阿久根小で考えている。ただし、阿久根小に吸収されるという形ではなく、阿久根小も廃校にして新たな学校でスタートするという方針である。その場所が、阿久根小と考えている。中学校も同じである。</p> <p>(2) 令和10年度という期限が実現すれば、今の1年生が6年生となり、2年生から4年生が中学生となる。そこを理解いただき、意見をいただきたい。</p>

<p>7 未就学児の保護者についても、このような会を開くのか。</p>	<p>(1) 今回、この会場も含め、未就学児の保護者へ全会場の開催期日を掲載した案内文を通知し、出席をお願いしている。</p> <p>(2) 未就学児の子どもについては、毎年10月に就学前健診を実施する。その場を使って、未就学児の保護者へ説明する予定である。</p>
<p>8 阿久根中に通学するにあたって、かなり戸惑いもあったが、徐々に慣れてきているが、どうしても送迎ができないときに、バスの時刻に合わせて早く帰ってくるように子どもへ伝え、先生にお願いして、部活を早く返してもらったことがあったが、クラスの生徒から「ずるい」と言われ、ショックを受け、絶対早く帰りたくないと言っている。</p> <p>そういったところのケア、配慮をお願いしたい。</p>	<p>(1) 大川から通学している子どもたちの状況について、他の子どもたちが知らないことも考えられる。</p> <p>(2) お聞きした意見については、言い方を工夫して学校に伝え、対応するよう指示したい。</p> <p>(3) 全ての子どもたちが、楽しく学校生活を過ごせるよう、子どもの困り感の軽減を図りたい。</p>
<p>9 複式学級は、いけないことなのか。</p>	<p>(1) 説明が難しいが、今の取組を否定するものではない。</p> <p>(2) 複式学級では、先生が指導等を行う時間は約20分であり、半分の時間は子どもたちの自学自習となる。例えば、子どもが一人であれば、一人で頑張らないといけない。また、体育や音楽等については、発達段階に応じた教育を行うことが難しい。</p> <p>(3) 大川小の授業については何回も参観している。子どもたちや先生はよく頑張っているが、今説明した課題は解消できない。</p> <p>(4) このような理由から、複式学級を解消したいと考えている。</p> <p>(5) 学校の統・廃合については、大きい学校に就学させたいという保護者もいれば、小規模校がいいという保護者もいて、非常に難しいところである。統・廃合は、保護者等が理解し、意見がまとまった上でと考えており、令和10年4月を目標にしている。</p>

〔西目小学校〕 12月1日（金）

保 護 者	教 育 委 員 会
<p>1 阿久根市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則とは、どのような内容か。</p>	<p>○ 新しい学校になった場合、大人数の学校生活に困り感がある場合は、その時点で現存する学校に通学できるということである。</p>

<p>2 阿久根小に統合することになると思うが、小規模校とはどこを指すのか。</p>	<p>(1) 先ほど説明したが、この方向性は、各学校の状況に応じて進めるとしている。 (2) 令和10年4月の時点で、この4・5校の統合がどのようになるか分からないが、その時点で現存する学校になる。</p>
<p>3 小規模校がゼロになった場合は、どのように対応するのか。</p>	<p>○ 阿久根小・中学校に設置している自立支援教室での対応となる。</p>
<p>4 阿久根小・中学校に自立支援教室を設置しているが、現在、どれくらいの不登校、どれくらいの子どもたちが利用しているのか。</p>	<p>(1) 阿久根小は、5名が毎日通級している。阿久根中もそれくらいの子どもたちが通級している。 ただし、阿久根中の子どもたちは、毎日通級する子どももいれば、2日に1回というような状況である。 (2) 学校に登校することができない子どもは、市民交流センター鶴見分館内に設置している「あくねす」に一人通級している。 (3) 不登校傾向の子どもたちの半数くらいが通級できるようになっており、大きな成果であると考えている。</p>
<p>5 学童クラブについて、阿久根小学校については、小学校前と公園の裏側にあるが、その利用の形態というのは決まっているのか。兄弟の取り扱い、学年などの規制、入れない人もいると聞くので。</p>	<p>○ 入れない子どもはいないと思う。学年によって場所は変えているかもしれないが、分け方は把握していないので、改めて回答したい。 (後日、福祉課に確認し、回答済)</p>
<p>6 学童クラブが校内にあることで、安全性が確保されるし、駐車場の件もある。西目小は、学校のそばまで迎えに来れるのが安心なので、登下校の不安材料もある。駅で降りて歩いてくるなど、駐車場の問題を解決しないと事故につながる不安もある。6か所確保しているが、解消する見込みはあるのか。</p>	<p>(1) 今後は、阿久根小の児童数も減少してくるので、空き教室でという計画はもっている。 (2) 現時点では、特別支援学級が増えつつあり、確保する必要があるが、今後は可能になるのではないかと考えている。 (3) 現在の駐車場については、学校から港まで5分かかる。その距離・時間の範囲で探しているが、たくさん停められるようなスペースはない。 現在、6か所は確保しているが、到底足りない。周辺で確保する努力はするが、現在のところ大変厳しい。</p>
<p>7 ICT教育の一層の充実について、不登校の児童生徒のオンラインによる授業とあるが、実際どれくらいの利用があるのか。また、学力的な保障はされているのか。</p>	<p>○ はっきり把握しているのは、1名である。学力については、その子どもがずっとICTで授業を受けるということではないので、学力面では課題がある。</p>

<p>8 学校を超えて教科担任の方が授業をしているが、児童生徒が減少することで先生も減少し、こういったことになっているのか。特色のあるというより、苦肉の策というふうを感じるが。</p>	<p>(1) そのとおりである。先生の数は、学級数で決まる。定数法という法律で、児童生徒数による学級数で先生の数が決定される。</p> <p>(2) 鶴川内小・中もそうであるが、先生の数が足りないので、このような対応をとっている。新しい取組というよりは、学校が困らないように対応している。</p> <p>(3) 子どもたちや先生にとっては、このような対応をしていかないと、例えば、4年生と6年生の理科と社会は、内容が大きく異なり、2学年離れると授業は難しく、教材研究も大変である。 子どもや先生の努力だけでは対応できない状況がある。</p>
<p>9 指導法改善教員が2名とあり、一つの学級の児童を2つの教室に分け、少人数での対応をしているということだが、成果はどのようなものか。 算数や他の学校や県の平均点など、検証はできているか。</p>	<p>(1) 全国学力・学習状況調査等を実施しているが学校を比較するものでは無いことから、把握はしているが、説明は差し控えたい。</p> <p>(2) その学校の子どもたちの学力だけでみると、前年度と比較して上がってきており、効果があると考える。</p>
<p>10 統・廃合を目標とする年度の2年前に、保護者・地域住民の意見の取りまとめを行うとあるが、どのような方法で取りまとめているのか。</p>	<p>(1) 前回の取りまとめの方法では、難しいという意見を聞いている。</p> <p>(2) 現在も検討中が、次回は教育委員会がこのよう場に来て意見を取りまとめる方法も必要ではないかと考えている。</p> <p>(3) 現時点では、取りまとめの方法は決めてはいない。継続して検討していきたい。</p>
<p>11 以前、学校の統・廃合に関するアンケートで、本校は約8割強が反対していたが、賛成している人もいる。その人たちの声も立場上言うことができないので、賛成なら賛成と言える環境を作っていきたいと思っている。 大規模校（阿久根小）の良さを知る必要もあると思う。提案であるが、阿久根小と小規模校との交流はあまりない。一緒に授業をするなどすれば、大きな学校もいいと思う人も出てくるのではと考えるが、そのような交流は考えられないか。</p>	<p>(1) 大川小は、阿久根小との交流を行っている。</p> <p>(2) そのような取組については、関係の校長で実施の可否等について協議する必要がある。 そのような意見があることについては、阿久根小の校長には伝えたい。</p> <p>(3) 今後も、説明・意見交換会は継続して開催していく。多くの保護者の方々にお越しいただき、意見をいただきたい。</p>

〔山下小学校〕 12月1日（金）

保 護 者	教 育 委 員 会
1 統・廃合後は、存続する学校において特認校制度を適用するとあるが、今ある特認校を残すということか。	○ 関係する保護者・地域の方々が、統・廃合の意見でまとまった場合、阿久根小・中になっていくが、まとまらない場合もある。その学校について、現行の特認校制度を適用する。
2 まだ決まっていないということか。	(1) 山下小もそうであるが、現在、説明・意見交換会を継続しているところである。 (2) 統・廃合は決定したものではない。
3 統・廃合で阿久根小を活用するというのだが、駐車場を港に止めて阿久根小までPTAなどの行事に行かないといけない。 山下小は、歩いても10分くらいで行ける。駐車場問題をどう考えているか。インフラをしっかりとしてから話した方がいいのではないか。	(1) 早急に解決することは難しい。 (2) 阿久根小から歩いて5分くらいの距離に港があるが、港と同じ時間の範囲で300世帯分を確保できるスペースはない。 (3) 継続して検討していくが、大きな問題である。
4 阿久根小に自立支援教室を設定ということであるが、特別支援学級との違いは何か。	○ 自立支援教室は、例えば、不登校傾向にある子どもたちで、学校には登校できるが、教室には入れない子どもたちに対して必要な指導・支援を行う教室である。
5 統・廃合になると、現在の学童クラブを活用するとあるが、山下小が阿久根小と統・廃合になった場合、学童クラブは山下小となるのか。	(1) その場合は、阿久根小の学童クラブとなる。 (2) 阿久根小も児童が減少し、空き学級が出てくることから、阿久根小内に学童クラブを設置することを考えている。
6 折多小、脇本小、三笠中の小中一貫教育の本格的推進とあるが、その学校の保護者からは理解が得られているということか。	○ 理解が得られており、大変期待が大きい。

<p>7 目標とする令和6年度がストップして1年も経たないうちに、令和10年度ということになっている。どういふことか。</p>	<p>(1) 教育委員会としても、こういった方向性がベストとは考えていない。今の学校で、子どもや先生方がこの状況で良いということであれば、教育委員会としてもこのままで良いと考える。</p> <p>(2) 子どもたちの授業をしっかり見ていただきたい。先生方がしっかり対応しているので、困り感はないが、授業を見てみると、山下小もそうであるが、子どもで授業を行う学級がある。そのような状況を見ると、もう少し他の対応が必要ではないかと考える。同学年の仲間で切磋琢磨していくのが望ましいし、将来は、少人数での生活は難しい。多くの方々と関わっていくことが必要である。まだ対応できることがあるのではということで、このような方針を出している。</p> <p>(3) 他の学校で大変厳しい状況となり、統・廃合とした学校もある。教育委員会としては、子どもたちが少なくなつて、もうどうしようもないという状況は避けたい。先のことを考え、方向性を示していくのも私たちの役割である。</p> <p>(4) 1年経たずということであるが、「令和6年4月には行わない。改めて、新たな年度を示す。」と説明している。手続き上の関係で、来年お願いされてもできない。</p> <p>(5) 山下小にも、大規模校という希望をもっている保護者もいれば、山下小がなくなつてもどうかという保護者もいる。そのような方々の意見を含め、対応していく必要がある。</p>
<p>8 三笠中の陸上部の生徒が、折多小・脇本小を訪問して実技指導をということについて、具体的に教えてほしい。</p>	<p>○ 小学校の陸上記録大会の前に指導をすることを想定したものである。今年は、時間的な都合でできなかった。</p>
<p>9 スポーツ少年団の指導か。</p>	<p>○ そうではない。</p>
<p>10 生徒が児童を教えないといけない状況なのか。</p>	<p>○ そういう状況ではない。中学生が児童を支援する形を考えている。</p>
<p>11 技術と指導力は、別の問題である。中学校の先生も必要と思うが。</p>	<p>○ 必要に応じて、中学校の先生にも対応をお願いしたい。そのような対応も必要であると考えている。</p>
<p>12 三笠中の陸上部に限定している。陸上部だけがわざわざ指導に行くのは、どうなのか。なぜ、しないといけないのかと生徒も考えるのではないか。</p>	<p>○ 出身小での支援を想定している。</p>
<p>13 生徒がいなかった場合は、できないということか。</p>	<p>○ そうである。陸上記録会に合わせた形での指導を考えている。</p>

<p>14 生徒ではなく、一般の指導者に頼んだ方がいいのではないか。</p>	<p>○ 学校間の児童と生徒の交流ができればと考えたものである。</p>
<p>15 地域の行事が多くあり、地域の方々も協力してもらっている。伝統芸能の棒踊りもあり、子どもたちも楽しく活動している。 阿久根小になると、そういうこともなくなり、地域も盛り上がらない。</p>	<p>(1) 大事な伝統芸能であるので、継続することは大事である。 (2) 子どもたちが学校で過ごすのは、大体 200 日で、他は、地域で生活する。地域の関りは非常に大事であり、そのような関わりは大事にしながらではあるが、地域活動の維持と教育委員会が示して取組について、同じように考えることは非常に難しい。どこに重点を置くのか。もちろん地域との関りを大事にしたい。前回も話したが、地域に帰って活動する時間の確保については、学校にも考えてもらいたいと考えている。年に何回できるか分からないが、伝統芸能に関わる時間も学校には設けてもらいたい。また、これまでと同様に、地域の方々にも協力をお願いしたい。</p>
<p>16 複式学級が良くないというふうに記載されている。先生は大変だと思うが、別に困ったこともないし、子どもはそれなりにやっている。阿久根小は人数が多く、行事も何回かあって、保護者も大変だと聞く。 こういうことは、子ども・保護者の意見を聞いてから進めるべきではなかったか。</p>	<p>(1) 発達段階の異なる子どもたちは、なかなか考えはまとまらないと思う。中学生になれば自分の考えが言えるかもしれないが。意見や考えは、保護者から聞いてもらい。 (2) 保護者の意見が、今の現状で特に問題ないということでまとまるのであれば、それでも良いと考えている。 (3) 複式学級の良さを理解しつつも、課題もある。保護者の方々には、授業を 1 時間しっかり見てもらい、どのようなところに子どもの困り感があるのかを把握してもらいたい。それでも子供たちが大丈夫ということであれば、大きな変更は必要ないと考える。</p>
<p>17 規模適正化協議会について、委員に山下小の関係者がいない。大きく言えば、山下地区の区長会長が入っているが、尾崎地区の方である。 各学校で条件が違うのであれば、山下小学校の関係者を呼んでもらえなかったのか。</p>	<p>(1) 令和 2 年度の協議会委員を決める際、大きなくくりで尾崎地区から P T A、山下地区から地区の区長という形で決めていた経緯があった。 (2) その点については課題であり、各地区の小学校から代表を出すことも考える必要がある。 (3) 今後検討していきたい。</p>
<p>18 説明を受ける前に、委員として選ばれているのであれば、P T A 会長から発して、学校でその経緯を伝えることができた。その前段階で山下小の現状を知る者から話を聞けなかったか。 今後というが、今後はもうないのではないか。</p>	<p>○ この協議会は、1 回でだけではなく、今後も開催していく。委員を検討したいといった意味は、そういうことである。</p>

19 仮に統・廃合が進んだとして、阿久根小へ通学するとなったときに、登下校の支援はどうなっているのか。	○ 登下校の支援は行う。
20 部活などは、帰り時間はバラバラになる。その時間に応じて対応していくのか。	(1) 部活をする子ども、しない子どもそれぞれについて、現在も対応しているところである。 (2) その場合は、保護者と協議し、調整していくことになる。
21 方法は決まっていないが、5時、6時の便といった形になるのか。	(1) 中学校の部活動についての対応はしている。 (2) 小学校の場合は、送迎について複数の時間帯を設けることになる。
22 大川中の通学支援（バス）なら理解する。尾崎地区の子どもはタクシーで来る。タクシーは何便もない。そういった対応は可能なのか。	(1) 学年の違いや学校行事などによる時間差など、いくつかの送迎の形態をとっている。 (2) 支援する以上は、柔軟な対応をしていく必要がある。この件については、持ち帰らせてもらいたい。
23 複式学級に悪いイメージを持っていないくて、統・廃合して生み出された財源で、慣れない子どもたちの支援ということであるが、小規模校を1校残し、複式学級となったところの対応でお金をつぎ込むことを考えていないのか。複式学級のデメリット部分への（先生の不足分を補うなど）考えはないのか。統・廃合に進むことしかなかったのか。	(1) そういった形は解消していきたいと考えていた。全ての学校が同じように進むのは、難しいと考えている。 (2) どの学校を1校残すというのは、なかなか難しいと考える。山下地区の保護者は山下小を残してほしいと考えるし、他の学校も同じ意見を言われる。保護者・地域の意見を聞いて、どの方法にするか考えていきたいと思う。 (3) 最終的には、そういった形は避けたい。
24 私個人の意見としては、学校に通う子どもを知っているのは私たちなので、子どもたちが元気、笑顔で通って、学校の話をする。この関係を崩したくないだけで、統・廃合自体は反対ではないが、この環境だけは壊したくない。 個人的には、まだ統・廃合はしてほしくない。	(1) 先ほども話したが、教育委員会としてもベストな方法とは思っていない。子どもさんが現状に問題がなければ、そのような意見として受けて、令和8年の段階でもその方向であれば、その先をまた考えていかないといけない。 もうどうしようもないという段階で、学校の環境を変えるのは避けたいという考えである。 (2) 実際、今までの学校でそのような状況があった。どうしようもない段階で統・廃合を行うのは子どもたちがかわいそうである。自分の子どもが元気だからというところはよく分かる。 (3) 教育に関わる者としては、その先を見ていく必要がある。御理解いただきたい。
25 今後も、説明・意見交換会は、山下小でも開催するのか。今日だけか。	○ 今後も、開催していく。学校規模適正化協議会も同じである。

<p>26 結果的にどうしようもない状況で統・廃合ということ避けたいと話すが、山下小を廃校とするのは反対である。阿久根小に行こうと思えば行ける状況にある。残りたいという親もいる。阿久根小へ通学させたい人は、そうすればいい。</p> <p>令和6年度はしないと行ったのに、毎回、毎回、話をして同じような人たちが参加して、令和6年度に一貫教育を実現したと言って、結局実現しない。</p> <p>夫が教育委員会からアンケートを依頼され、アンケートを作った。自分の仕事をしながら作り、取りまとめをしている。教育委員会がまとめられない状況の中で、令和8年をめざすのはいかがなものか。</p>	
	<p>○ 一貫教育ができなかったというのは、どのような意味か。</p>
<p>27 令和6年度は、統・廃合はできなかった。ないと思って安心していましたが、またこのような話がある。取りまとめも、教育委員会がすればいい。PTA会長や区長は苦勞をする。仕事をもっていながらすることが大変ということ話を話したかった。</p>	<p>(1) 取りまとめについては、確かに大変だったと思う。教育委員会がまとめるという方法もあったので、前回はお願ひしたところであるが、その方法については検討していきたい。</p> <p>(2) どうしようもない状況を避けたいというのは、学校の児童生徒が1人や2人になったときそういう方向になるというを意味している。</p> <p>(3) そのような状況が分かっている、何もしない場合、保護者の方からは言われるのではないか。そういう意味であり、誤解しないでほしい。</p> <p>(4) 目標としていた令和6年4月に行わないという説明はしているが、統・廃合の方向性については変えていない。そのような説明をしている。</p>
<p>28 1人や2人の状況なら分かる。これから先、阿久根に入っていく方もいるだろうし、出ていく方もいる。</p> <p>先のことは考えず、今の子どもたちが楽しんで学校に行っているということを考えてもらい。特認校を残す形も進めていってほしい。統・廃合の話ばかりで、何回話しても同じやり取りで何も変わらない。阿久根か山下かで保護者も混乱し、何をしたいのか分からない。</p>	<p>(1) 説明・意見交換会を開催すると、そのような意見が多いが、参加しない方の中で、賛成の意見も聞く。その意見も大事にしないといけない。</p> <p>(2) 教育委員会としては、先を見るということは、必要であると考えている。保護者の方も先をみていろいろなことを考えるはずである。その不安が大きくなるのであれば、説明が不足していると捉え、何回も説明していきたい。</p> <p>(3) 今の教育を粗末にしているわけではない。今の教育も大事にしながら、先を見据えてやっていくという方向性である。</p>

〔鶴川内小学校〕 12月7日（木）

保 護 者	教 育 委 員 会
<p>1 通学支援について説明があつたが話がまとまった場合、令和10年4月の目標を前倒しする可能性があるという意味か。</p>	<p>(1) 令和10年を目標にしているが、皆さんが了承されても、手続きに約2年かかる。令和10年であれば、令和8年度までに意見の取りまとめを行い、了承されれば手続きを行うという意味である。</p> <p>(2) もっと早くしてほしいということであれば、その時点で手続きをしていくことになる。</p> <p>(3) 令和8年度末に意見を取りまとめ、令和10年度を目標にしているが、学校で意見が異なることから、皆さんの意見を聞かせていただきたい。</p>
<p>2 小学校の改修工事が必要と記載されている。中学校はどうなるのか。</p>	<p>○ 小学校と同様に改修していくこととしている。</p>

〔折多小学校〕 12月6日（水）

保 護 者	教 育 委 員 会
<p>1 保護者、地域住民の意見を取りまとめるとあるが、地域住民への周知はなかったと聞いているが。</p>	<p>(1) これまで実施した保護者・地域住民への説明意見交換会の中で、保護者を中心に説明をしてほしいという要望が多くあった。</p> <p>(2) 今回は全て、保護者を中心とした説明・意見交換会としている。</p> <p>(3) どの時期になるか未定であるが、保護者への説明・意見交換会が終われば、地域住民についても実施していきたい。</p>
<p>2 保護者、地域住民が納得すればという条件で統・廃合の時期が設定されているが、地域住民の意見の取りまとめは間に合うのか。 鶴川内中では、令和6年度に説明会を終えないと、間に合わないのではないか。</p>	<p>○ 今、保護者への説明・意見交換会を開催している。地域住民についても、計画的に説明していきたい。</p>
<p>3 小中一貫教育の推進ということで、多田地区、大林区については、三笠中へは通学しないと思う。 鶴川内中が統・廃合になった場合どうなるのか。小中一貫教育のまま、三笠中へ通学することができないか。</p>	<p>(1) 折多小については、中学校を選択できるようにしたいと考えている。</p> <p>(2) 部活動の関係もあると思うが、小中一貫教育で三笠中、または、阿久根中という選択もできるようにしたい。また、選択する理由は、部活動以外でも可としたい。</p>

<p>4 保護者、地域住民の意見の取りまとめを行い、意見がまとめられ、10年4月に小学校の統・廃合とある。</p> <p>現在、休校中の学校は令和9年4月とあるが、そこに1年の差がある理由は何か。休校していても、子どもはいると思うが、どのようになっているのか。</p>	<p>(1) 現在休校中の学校は、区別して統・廃合を行っていききたい。</p> <p>(2) 田代小校区の子どもは、全て中学校に進学し、児童はいない状況である。</p> <p>また、尾崎小校区の子どもは2人で、現在、山下小へ通学している。</p> <p>(3) 令和8年度に、尾崎小校区で入学予定の未就学児がいることから、休校を継続している。今後、就学先の確認を行っていくが、尾崎小へ入学しない場合は、統・廃合の方向性が進めていききたい。</p>
<p>5 7学級以上の小学校については、専任の先生が配置されるとある。</p> <p>2人専科が配置されるとあるが、学級数が増えれば3人、4人になったりするのか。</p>	<p>(1) 20～30学級ということになれば、3人の可能性もある。他の学校でも、2人配置が多いパターンである。</p> <p>(2) 本市では、阿久根小・中に専科が配置されている。</p>
<p>6 小規模校の場合、先生の数も減ってくると思う。専門の免許を持った先生でも、指導できない状況もあると思う。三笠中の技術は、小学校の先生が教えているとある。</p> <p>今後は、不足している部分を小中一貫にすることで、不足する教科の対応が取りやすいということか。</p>	<p>(1) 小学校の先生は、小学校の免許を持っていればいいが、今回は中学校の免許をもっている先生に依頼し、了解をもらい対応していただいている。この先生が異動になれば、この取組が継続できるかは分からない。</p> <p>(2) 御意見のとおり、小・中学校間で、所有する免許によって、相互の教科のカバーができると思う。</p>
<p>7 学級数を増やした方が、専門の先生をより多く配置できるのか。</p>	<p>(1) そのとおりである。</p> <p>(2) 中学校の場合、普通学級が9学級以上であれば、全教科の先生が配置される。</p>
<p>8 複数の免許を持っている先生もいると思うが、臨時免許状は申請するだけで許可が出る。</p> <p>臨時免許状を取得された先生が教えるよりは、教科の普通免許状を持つ先生に教えてもらう方が、より専門的な教育が受けられると思う。</p>	<p>(1) そのとおりである。臨時免許状は、この先生なら他の教科もできるであろうということで取得できる免許である。</p> <p>(2) 専門の先生の方が子どもたちにとっては、より良い授業が受けられる。</p>

保 護 者	教 育 委 員 会
<p>1 小中一貫教育の推進について、将来は、1校にまとまるのか。その時期はいつか。学校行事はどのようになるのか。具体的に決まっていれば教えてほしい。</p>	<p>(1) 山田楽や三笠中の先生が小学校で音楽の授業を担当するなど、既に小中一貫の取組は進んでいる。</p> <p>(2) 現在、この3校は、単独で学校運営ができている。今後の児童生徒数の推移を見ていかないといけないが、令和10年度においても、3校を一つにまとめることは考えられない。</p> <p>(3) 現時点では、一つにまとめることは考えていない。令和10年度以降、児童生徒数の状況等を見て、一つの学校で授業等ができる形が見えてくるのであれば検討する必要があると考える。</p>
<p>2 小学校では少年団活動、中学校では部活動という形で行われているが現状では、少年団にあった競技が中学校ではなくなり、また、中学校から新たにある部活動などがあり、進学の中で選択がなくなることについて、どのように考えているか。</p>	<p>(1) 三笠中学校の部活動については、生徒数と部活数の割合がどうなのかをみていかないといけない。小学校にある競技を中学校にも同じように設けることは、なかなか難しいと考える。</p> <p>(2) この質問については、学校側と相談していく必要がある。このような意見があることを学校に伝え、検討するよう指示したい。(サッカー、陸上)</p> <p>(3) 部活動の地域等への移行が進めば、幅が広がり対応も変わってくると考えるが、まだ具体的なものではない。令和7年度に何とかできればと考えている。</p>